

# はじまり。はじめて。

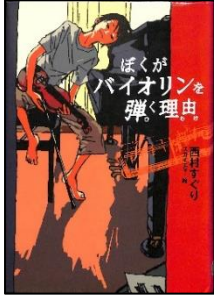


## 5・6年向け

### 読みもの

### 『ぼくがバイオリンを弾く理由(わけ)』

西村 すぐり／作 (ポプラ社)



コンクールで入賞するには、審査員が喜ぶようなわざとらしい演奏をしなくては行けないのか。はじめてのコンクールで絶望したカイトは、バイオリンをやめる決意をするが…。

### 絵本

### 『ゲーテンベルクのふしぎな機械』

ジェームズ・ランフォード／作 千葉 茂樹／訳 (あすなろ書房)

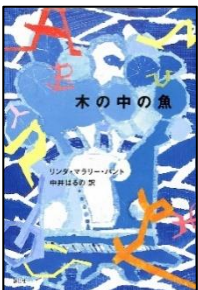
1450年ごろのドイツで、ぼろきれと骨、まっ黒なススと植物の種、茶色の動物の毛皮から作られたもの。それは、わたしたちの暮らしを大きく変えました。これって、いったいなんだと思う？



### 読みもの

### 『木の中の魚』

リンダ・マラー・ハント／著 中井 はるの／訳 (講談社)



なんどくしょう 難読症のアリーは、字がおどっているように見えるので、読み書きがうまくできません。しかし、自分の病気を知り、特別な勉強をしていくことで、少しずつ変わっていきます。みなさんもアリーのように新しい自分を見つけてみませんか。

ここに紹介している本は、市内の図書館で借りられます。貸出中の本は予約できます。



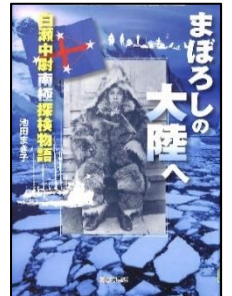
### 知識

### 『まぼろしの大陸へ』

しら せちゆういなんきょくたんけんものがたり 白瀬中尉南極探検物語』

池田 まき子／著 (岩崎書店)

11歳の白瀬少年が探検家を志し、様々な苦難を乗り越えて南極探検に挑戦した記録。まだ日本人はだれもふみ入ったことのない南極をめざし、探検ひとすじをつらぬいた彼の思いとは…。



### 知識

### 『いのちって、なんだろう？ 1』

いのちはどこからきたの？』

細谷 亮太／監修 (フレーベル館)



自分がどういうふうにして、いま、ここにいるのか、いのちとはどんなものなのか、考えたことはありますか。大切で不思議ないのちのはじまりについて、ゆっくりじっくり思いを深める本です。

### 絵本

### 『おとうさんの ちず』

ユリ・シュルヴィッツ／作 さくま ゆみこ／訳 (あすなろ書房)

戦争で何もかも失って、貧しい生活をしていたある日のこと。買い物に出かけたお父さんが、パンではなく地図を買って帰ってきた。おなかをぺこぺこなぼくは、お父さんを許せなかったけれど…。

